

各地で同友会総会・講演会が開催される

新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されたことにもない、各地で4年振りのけんしん同友会の総会・講演会・懇親会が開催されている。これまでに、国東同友会、大分南部ブロック同友会、大野同友会、中津下毛同友会、大分中央ブロック同友会、大分東部ブロック同友会、豊後高田市同友会が開催している。各会場にはたくさんの同友会会員がご参集くださり、4年ぶりの同友会での再会を喜んでいただいた。講演会では佐藤樹一郎大分県知事、吉田一生大分県副知事、タレントの中島知子さんなど各界の皆様がご講演されている。今後も各地域の同友会の会合が予定されている。



大分県知事 佐藤 樹一郎 様



中島 知子 様

けんしん美術展 開催される



「生活と静寂」
玉田 結夢



「ふきでもの」
秋山 奈都

第32回けんしん美術展が開催された。10月11日から20日までは本店5階ホールにて、その後けんしんプラザ、高田支店でも巡回展が開催された。今年も154点の力作が展覧され、けんしん大賞の村上寛さんの「Cortian」、70周年記念特別賞の前田一花さんの「age」他21作品の入賞作品が選出された。けんしん同友会としてサポートしている同友会賞には、甲斐瞳さん、玉田結夢さん、秋山奈都さんの3名が選ばれた。玉田さんと秋山さんは高校生で、今年も若くみずみずしい感性の作品が会場に華やかさを添えてくれた。



- 1 特集/TOP INTERVIEW
有限会社 サントク
株式会社 ATTS
中山石油 合同会社
株式会社 堀木材
有限会社 加宝興産
- 6 けんしん創立70周年記念/
包括連携協定締結・調印式
- 7 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 9 けんしん同友会企業紹介
- 11 けんしんTOPICS

明日を切り拓く、地域への想い

変化の時代を好機と捉え、 挑戦を続ける老舗焼肉店

1940年代に別府市北浜で誕生した前身の店舗から数えると、その歴史は70年以上。現在の南立石地区でも、半世紀を超える日々を刻む焼肉店「春香苑(しゅんこうえん)」を運営しているのが「有限会社サントク」だ。九州各地から仕入れる旨み豊かな黒毛和牛のほかに、店の特徴として愛されているのは、バラエティに富んだサイドメニューの数々。冷麺やピビンバ、ユッケをはじめとする「焼肉店の王道」はもちろん、焼き飯からオムライス、各種丼、チャンポン、お子様ランチまで揃えているから驚いてしまう。だが、こうしたラインナップの背景にあるのは、繁華街からの移転後に現れた客層の変化。誰もが楽しめる年代不問のメニューを考案することで家族連れの来店に対応し、現在の立ち位置を築いてきた。「うちの店をレストランか食堂、と思っている人がいたらそれは本望。"子どもを連れて行っても、あそこの店なら何かある"と選択肢に挙げてもらえる店でありたい」と、木村知徳常務取締役。歩みを続けるための変化を大切にしている。

また、「焼肉が美味しいのは大前提。でも専門店だからといってそこだけに尖らず、可能性を広げる努力はこれからも続けていきたい」と力強く話し、3年程前からは1人でも気軽に楽しめ、午前の営業開始後

すぐにオーダーできる「食べ放題」もスタート。提供する黒毛和牛の品質はブランドメニューと変わらず、さらにプラス料金を払えば、特上ランクの肉も注文できる太っ腹な企画だ。さらにSNSを積極的に活用し、毎月29日にはお得な4枚綴りのクーポンを配布。コロナ禍で高まった非接触ニーズや従業員の負担軽減を考え、タッチパネルを利用したモバイルオーダーや配膳ロボットを導入するなど、効率的にITを取り入れることで人為的なミスを防ぎ、ピーク時の人手不足を解消するなど、業務環境の改善にも努めている。

さらに別府市が持続可能な観光地であり続けるためには、訪問客の消費総額がと

別府日出同友会

[飲食業]

有限会社 サントク

常務取締役 木村 知徳氏

DATA

〒 別府市南立石1区4-1

☎ 0977-24-3377

🕒 11:00~22:00(LO21:30)

📍 不定 📄 40台

🌐 <https://yakniku-syunkouen.com>



常務/明るくユーモアに
富んだ人柄の木村知徳氏

ても重要。観光産業を利用して地域の活性化を図るためにも、この先の大きな夢として木村氏は「地域に店を構える商売人同士が手を取り合い、一丸となって観光で訪れた人々をおもてなしするルールをつくりたい」と自らの想いを話す。多くの環境の変化に直面しつつも、その壁を乗り越え、今日まで多くの人々の心と胃袋を掴んできた老舗焼肉店。これからさまざまな角度から来店客に外食の価値や楽しさを感じてもらおう工夫を重ね、時代を歩んでいく。



好評の食べ放題は大人4400円、中学生以下2500円、小学生以下1100円で特上も注文できる



上/注文後に麺から手作りする「冷麺」800円中/広々とした店内。席数は200を超え、テーブル席のほかに座敷や個室も完備する。下/営業日はいつも昼から夜までの通し営業。気軽に立ち寄ることができる



若き力の育成こそが 企業成長の重要なカギ

日進月歩で変化する情報化社会。企業のDXへの取り組みや、デジタルを活用した業務効率化が進む中、成長著しいソフトウェア会社。

菊池現社長は2007年の会社設立前は、サラリーマンとして県内のハードウェアとソフトウェアを販売する会社で営業職に携わっていた。時代の発展とともにソフトウェア開発への需要が増えてくると、同じ職場内で働くエンジニアの中には、忙しさのあまりメンタル的な不調が原因で離職や休職する人も多かった。「エンジニアの仕事は精神的にハードです。当時、取引先は大手企業も多く、当然ながら仕事内容の規模も責任も大きく、心身ともに疲弊しているスタッフをたくさん見てきた中で、この状況をどうにかしなければ」と、危機感を抱いていたという。

そして53歳の時、一念発起し長年サラリーマンとして働いていた職場を退職し、会社を立ち上げた。設立時は、市が運営する創業支援ルームの一室で、6名のスタッフからスタート。その後、順調に事業を拡大し現在は、社員数97名と大所帯の企業に発展した。

決して早いとは言えない50代での起業だが「年齢など気にならず、むしろ、まだまだ自分は挑戦できると思った」と菊池氏。その背景には、それまで目にしてきたエンジニアやプログラマーたちの激務を見直し、心身ともに良い状態で働ける場を作り

たいという強い想いがあった。

現在、取引先の多くは都心部に本社を置く大手企業が中心だが、あくまで大分を基盤にし、クライアントに最適なソフトウェアの企画から設計、開発、販売や保守までのサポートを行う。また、事業のもう一つの柱が、自社の技術者が顧客の会社に常駐し開発事業を手がける、技術者の派遣。顧客のチームの一員となり、多種多様な業務に関わることで、社員自らのスキルアップにもつながっている。

菊池氏が経営理念に掲げ大切にしているのは、「人」が最大の経営資源ということ。「お客様の要望に応え支持され続けるためには、スキルや経験値の高いスタッフは不可欠。そのためにはまず、社員たちが良いコンディションで満足して働く環境や待遇を整えることが何よりも大切」。その一環として、長時間にわたる残業の廃止

大分中央ブロック同友会

[IT関連業]

株式会社 ATTS

代表取締役 菊池 充氏

DATA

〒 大分市萩原3-6-2 ATTSビル

☎ 097-553-5055

🕒 9:00~18:00 (休:土・日曜、祝日)

📅 創立記念日(10/1)、年末年始

📍 あり <https://att-sys.co.jp/>



上/社員の約半数が30代。2023年の秋にはリモートワークなども行いやすい会議室を増設する予定。中/顧客満足度のため、個々の高いスキルが集い、柔軟で効率的なシステム開発を手がける。下/大分市萩原に自社ビルを構える。創立16年目とまだまだ今後の活躍が期待される

や、育児休暇取得なども積極的に行うほか、子育て支援企業として厚労省の認可を受けた「くるみん」や、若い人材を積極的に雇用する「ユースエール」の認定も取得するなど、ワークライフバランスの推進や労働環境の整備に努めている。

今後も多様化する働き方にも柔軟に対応しながら10年・20年後の未来を見据え、人材育成に力を注ぎたいと話す。



「今後も、県内や九州出身の若者を中心とした人材獲得を積極的に行いたい」と菊池氏



高齢者など、セルフ方式が苦手なお客様にはサポートを心がける



上/県道644号線沿いにあり、給油所の裏手には自社整備工場を構える
左下/自動車の急なトラブルや修理、車検などにも柔軟に対応 右下/物静かだが温かな人柄の中山氏と、明るくて気さくな直美さん。夫婦二人三脚で事業を営む

確かな技術と誠実な姿勢で 地域の人々に愛され続ける

杵築の城下町から車で10分ほどに位置し、のどかな自然に包まれた八坂地区。この地域に住む人たちにとって、日々の暮らしに車は欠かせない。

自動車整備工場を営んでいた中山哲志現代表の父が、工場の隣にガソリンスタンドを構えたのは昭和44年。50年以上たった現在も、近所の高齢者やファミリー世代など、幅広い客層から、車にまつわる駆け込み寺的な存在として、親しまれている。

中山氏は幼い頃から父が営む工場の隅で、部品を片手に遊ぶのが大好きで、自然とモノづくりに興味をもつ。中学卒業後は、大分市の国立高等専門学校へ進学しその後、大手自動車メーカーに就職し、自動車整備士として勤務する。その技術力の高さは社内でも評判で当時、務めていた営業所や本社の上司から、高い評価を受けるほどの腕前だった。しかし就職してから8年目に、父が他界。上司や同僚から惜しまれつつも退職し、生まれ育った杵築で家業を継承することを決意する。

整備士としてのテクニックは確かだが当時、経営に関しては初めてのことばかり。そんな中山氏を支え続けたのは妻・直美さんだ。「サラリーマン家庭から、いきなりの自営業で、最初は全く分からないことだらけでした。でも主人の技術と経験を生かし事業をやっていくと決めてからは、とにかくサポートしようという思いでやってきました」。現在、直美さんは主に経理や総務面を担当し、中山氏は経営業務に加え、整備の仕事に打ち込み続ける。

創業時からお客さんの多くは地元の人たち。ガソリンの給油はもちろん、急な車の不具合や修理などの困りごとで頼られることも多い。寡黙で職人気質な中山氏だが「できる限り力になりたい」という想いで、訪れた客の相談や注文に常に真摯に向き合ってきた。現在61歳となり、無理がきかなくなったと語るが、若い頃は時に寝る間も惜しんで、修理を請け負うことも多かったという。しかも一度受けたら、仕上がりは、とことん納得するまで追求する。妥協のない丁寧で実直な仕事ぶりは、多くの常連客から支持されている。

またガソリンスタンド業界は、社会情勢などにより変化を強いられる中、将来を見据え昨年12月にはセルフサービスへ改装。「うちのような田舎にあるスタンドをセルフ式にすることは、長く利用して下さっている高齢者のお客様などは、利用しづらくなってしまうのではないかと悩みました」と、葛藤した時期を振り返る。しかし、悩んだ末にたどりついたのは「多様性のあるセルフスタンド」。給油や決済の方法

など、セルフの利用に戸惑う高齢者を中心に、丁寧なアテンドを行いサポート。より柔軟な「自分たちらしいセルフスタンド」としてのサービスを確立した。

「セルフだからノンサービス」ではなく「セルフでもできるサービス」を目指し、今日も笑顔でお客様を迎えている。



「人よりモノと向き合うほうが性に合っているかも」という中山氏だが、地元の消防団では分団長を務め、人望も厚い

杵築同友会
[石油類小売業]
中山石油合同会社
代表社員 **中山 哲志氏**

DATA
〒 杵築市大字八坂2514-1
☎ 0978-62-2534 営業時間 7:30~20:00
☎ 元旦・1月2日のみ あり

100年後の子どもたちのために 山の可能性を広げたい

竹田市荻町に事務所を構える「堀木材」。木を伐採し、木材市場に販売する仕事を中心に、木や山の管理や売買や相続に関する相談、災害時の倒木などに対応する特殊伐採など、山に関する幅広い困りごとに対応している。また荒廃林を健全な森林に保つべく、伐採後は植林を行い、森の循環を考えた「年輪100年経営」を掲げ、地域に必要とされる山の管理を請け負っている。

現在、専務取締役を務める志賀和美さんの父・堀良三氏が、自動車メーカーの営業マンから一転、会社を設立したのは平成13年。当時は「危険・重労働」というイメージがつきものだった林業に変革を起こしたいと多くの機械を導入し、作業の軽減を図った。地域の林業を率先し時代を築いた良三氏は、平成29年に60歳の若さで他界。長女だった和美さんが家業を継ぐべく、37歳で専務に就任した。

代表取締役社長でもあるご主人の陽太さんと、右も左もわからない状態で会社を引き継ぎ、林業の知識を深めるために猛勉強。和美さんは、山林の基礎的な知識を得るために「森林施業プランナー」の資格を取得。陽太さんは、おもに現場を仕切り、現在まで夫婦二人三脚で会社を切り盛りしてきた。

「あの頃は、父から引き継いだ会社を守りたいと必死だった。会社全体を様々な角度から見直し立て直しを図った。かつての林業は危険と背中合わせで、悲しい事故に

遭遇したこともあった。しかし現在は事故を未然に防ぐため、安全を最優先することに全力を注いでいる。怪我をせず(safety)、効率的に(smart)、カッコよく(stylish)、稼ぐ(salary)という『新・林業4S』を林業の理念として掲げ、家業から企業へと成長すべく、今日まで前進してきた。

若い世代や女性たちが働ける環境を目指し初心者講習や、スタッフからの希望を採用した各種福利厚生など、林業で楽しく働ける工夫も積極的に取り入れている。

また、木材の端材をリユースした薪の商品化も注目を集めている。竹田市で伐採したクヌギの薪は、アウトドアブームや薪ストーブブームの到来とともに需要が増え、好評だ。これも無駄を出さない森林の循環の一環として、今では大切な役割を果たしている事業の一つになっている。

「山の可能性は無限。50年後100年後の子どもたちのために山の環境を守っていくのも私たちの大切な役割だと思っている。新しい価値が生み出せる場所でもある山の可能性をどんどん広げて、地域にも貢献



竹田同友会
[木材伐出業]
株式会社 堀木材
取締役専務 **志賀 和美氏**

DATA
〒 竹田市荻町馬場487-7
☎ 0974-68-2242
営業時間 平日8:00~17:30
☎ 土・日曜、祝日 あり
<https://horimoku.jp/>

「自然の中で体を動かす林業の仕事が好き」と、3人の娘さんを育てるお母さんでもある和美さん。見積もりや調査のため山に入ることも多い

していきたい。資源としての山、みんなが山に触れる機会が作れる楽しめる場所として、フォレスターの誇りを持って山をコーディネートしていけたら」と、林業の未来に目を輝かせていた。



アームの先に木を掴む装置がついた「グラブブル」。装備しているカッターで丸太を作る。道をふさぐ木を処理したり、災害にも駆けつけ活躍する重機だ



上/竹田市立南郷小学校で森林の働きや林業の現場の話をする和美さん。木材を活用した作品作りも行った。右下/現在、従業員は15名。重機の保有数は県内でもトップクラスを誇る。左下/通常は廃棄されていた端材を使った薪。最高級のクヌギを使い、ハウスで自然乾燥させた火持ちの良い薪が好評



地域に根差して30年以上。豊後高田市内の豊富な賃貸・売買物件をもち、あらゆるニーズにも柔軟に対応



上/大きな看板が目印。賃貸や売買の相談のほか不動産の相続に関する相談なども行っている。下/県内を代表する観光地「昭和の町」にもほど近い場所に自社ビルを構える



事業と地域活動を継続し 豊後高田の活性化に尽力

昭和55年に現会長の小門義資氏が設立。豊後高田市内を中心に真玉、香々地エリアのアパートやマンション、店舗など賃貸・売買物件の仲介をはじめ、土地活用などあらゆる要望や相談に応じ、地元の不動産における頼れる存在として、地域の人々に寄り添い続けてきた。

長年の実績で、平成25年から通常の賃貸・売買業務に加え行っているのが、行政から受託している「空き家バンク」の事業だ。

豊後高田市は全国的に見ても人気の移住地として注目を集めているが、その一方で、高齢化により空き家が増え続ける、切実な課題がある。そこで行政は、市外からの移住者に空き家を賃貸・売買し、活用してもらう取り組みを行っているが、行政だけでは行えない「家を探している移住者」と「貸したい・売りたい人」の間に立ち、契約や交渉の仲介業を行っている。

「豊後高田市は移住者が年々増えてきていますが、その反面、空き家も増え続け、町に活気がなくなりつつあります。家を探している移住者と家主さんの架け橋となり、双方により良いカタチでマッチングさせる業務を担うことで、地元が元気になってくれたら」と語るのは、自身の父である

会長から、15年前に経営のバトンを受け取り活躍する、小門佳士郎現社長。

また同社は、地元での不動産業の業績が行政に認められ、宮崎県にある3つの競輪場外車券売り場のサテライト事業も展開。しかし、あくまでビジネスの基盤は「豊後高田」でありたいという。

「会社の存在意義は、継続していくこと。父の代から現在まで、弊社が不動産屋として歩んでこれたのは、地域の方々とのつながりや信頼関係があるから。だからこそ地元で根付いた企業でありたい。私自身、生まれ育った豊後高田が大好きなので、地域を盛り上げていきたい。35歳という若さで事業継承をした当時は、なかなか思いどおりに進まないこともあったが、他の市町村で多展開する経営スタイルではなく、地元で地道に事業を継続するという、ブレない経営姿勢を貫いている。

小門氏は地域貢献への取り組みのひとつとして、市内の商工会議所やロータリークラブ、消防団など数々の地域の団体に所属。江戸時代から続く伝統的の

事「ホーランエンヤ」や、秋季大祭、昭和の町でのイベントなど、あらゆる行事の実行委員としての活動も意欲的に行っている。「若手から大先輩の経営者まで、みんなでこの町の活性化に努めたい」と地元愛は熱い。「地域ナンバーワン」を目指す不動産事業とともに、地域の魅力を底上げするため、今日も町を飛びまわっている。



「これからも豊後高田で住まいを探す人と提供したい人をつなげていきたい」と小門氏

豊後高田市同友会

[不動産業・サテライト事業]

有限会社 加宝興産

代表取締役 小門 佳士郎氏

DATA

〒豊後高田市金谷町1185番地
☎0978-24-1191
営業 9:00~18:00 休 日 曜、祝 日 あり
http://www.kahoukousan.com/



宮崎県にある、競輪場外車券売り場「サテライト宮崎」ほか、同県内にある2つの場外車券売り場も運営

〈けんしん創立70周年記念「感謝の集い」開催される〉

令和5年11月25日、ホテル日航大分 オアシスタワーにおいて、けんしん創立70周年記念「けんしん感謝の集い」が開催されました。地方創生アライアンスパートナーとして連携協定を結ばせていただいております協定先の皆様をお招きして式典と祝賀会を開催しました。全包括連携先119先の皆様が一堂に会し、大分県知事 佐藤樹一郎様、大分市長 足立信也様などご来賓の皆様からお言葉をいただきながら、けんしん創立70周年の感謝をお伝えすると同時に、ご来場の皆様との懇親を深め、さらに強固なビジネスパートナーとしての関係を深耕する機会となりました。

けんしんは今後も、大分県の発展に貢献すべく、地方創生の取り組みのさらなる発展に努めてまいります。



大分県知事 佐藤 樹一郎様

大分市長 足立 信也様

別府市長 長野 恭紘様

〈大分県漁業協同組合、杵築市・九州電力大分支店 大分県信用組合との包括連携協定締結・調印式〉

右/大分県漁業協同組合 代表理事組合長 中根 隆文様
中/大分県農林水産部 部長 佐藤 章様
左/大分県信用組合 理事長 吉野 一彦様



令和5年11月2日、大分県漁業協同組合と大分県信用組合は連携協定を締結した。来年11月に開催される第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おいた大会～への協力を主目的としたもので、大分県漁業協同組合 代表理事組合長 中根隆文様と吉野理事長が署名し大分県農林水産部 部長 佐藤章様が立会人として署名した。

また、11月17日には、杵築市、九州電力株式会社大分支店と大分県信用組合との包括連携協定を締結した。締結には、杵築市のカーボンニュートラル推進のために、九州電力株式会社大分支店様の知見と当組合の金融商品や資金面でのバックアップを盛り込み、大分県の脱炭素を杵築市が先行していけるように協力することを掲げた。協定書の調印は杵築市 永松悟市長、九州電力株式会社大分支店執行役員支店長 中村直樹様と吉野理事長の三者によって行われた。

右/九州電力株式会社大分支店 執行役員支店長 中村 直樹様
中/杵築市市長 永松 悟様
左/大分県信用組合 理事長 吉野 一彦様





有限会社 丸福水産
代表取締役 下向 勝也さん



DATA
〔魚介類販売〕
有限会社 丸福水産
所 別府市中須賀本町3組
☎0977-66-4217
営業 9:00~16:00
休 不定休 〔P〕あり

料理人の想いを叶えるため 鮮度抜群の魚にこだわる

大分へ観光で訪れた人が楽しみにしているのが「関あじ」「関さば」をはじめとする、鮮度抜群の大分の魚のおいしさ。その観光地の「食」を支えるべく、別府市中須賀本町に店を構える「丸福水産」は、市内や由布院の旅館やホテルへの鮮魚の卸業をメインに行う鮮魚店。創業者であり現会長の下向義兼氏は中学卒業後、別府市で鮮魚店を営んでいた親戚のもとで働き修業を重ね、昭和46年に独立。10代から磨き続けた魚屋としての目利き力と腕前で、大手から個人経営まで数多くの旅館・ホテルなどの取引先から厚い信頼を得ている。

現在店の運営を担うのは2代目の下向勝也社長。23才の時に家業に入り、この道一筋約30年。父のもとで魚屋としての経験と技術を積み、約10年前に事業継承した。

経営を任されてからも地元で長年、ひい

きにしてくださるお客様を中心に店頭での販売はもちろん、由布市や別府市のスーパーでの小売販売も展開しているが、経営の主軸としているのは、父の代から変わらず卸業。

仕入れた魚の質が厳しく問われる板場さんたちとのやりとりのなかで、大切にしていることは「最大限の手を尽くして、要望に応えられる魚をそろえること」。取引先に満足してもらえる最高のネタを提供するために、早朝から会長とともに自らセリに出向く。料理人たちの目にかなう、鮮度と品質の良い魚を仕入れる姿勢は、父の時代から変わらず妥協は一切しない。

「板場さんや料理長が、自信をもってお客様に最高の料理を提供できるよう、父の代から培った鮮度へのこだわりを大切にしたい。自分たちがいい仕事をすることで、結果的に取引先や大分の観光業の役に立ち、たくさんの人に大分の魚の美味しさを知ってもらえたら」。良いものを届けるといふ熱いこだわりと真摯な姿勢は、創業51年目を迎えた今も続く。



養鶏場直営カフェ Caprices
店長 飯田 将さん



DATA
〔小売業〕
養鶏場直営カフェ Caprices
所 竹田市拜田原234-1
☎070-3163-6892
営業 11:00~16:30(L.O16:00)
休 金・土曜 〔P〕あり
https://kuju-egg.jp
(グリーンファーム久住)

たまごカフェの挑戦 竹田の人々に愛される店へ

竹田市にある養鶏場「グリーンファーム久住」が、地元の名産品と呼ばれるような「ふるさとの味」を作りたいと2022年8月、直営のカフェ「カプリセス」をオープンさせた。

「たまごの質は母鶏で決まる」と飼育環境や質のいい飼料や水にこだわり、ヒヨコから手塩にかけて育てた母鶏のたまごを使った、スイーツや軽食などが楽しめる。中でも2年間の試行錯誤の末に完成した「ご褒美プリン」はシンプルながらも、たまごの旨みが際立つ美味しさの看板商品だ。

また、妊婦さんや小さなお子さん連れの方も利用しやすいようにと、体に安心・安全な地元食材を使ったメニュー構成や、お子様ランチ、授乳室やオムツ交換台の設置など、ママ世代への細やかな配慮も取り入れている。

1周年を迎えた現在、カフェの運営を務めるのは「料理を提供するだけでなく生産の現場にも携わりたい」と、サラリーマンや

レストラン経営を経て、福岡県から竹田へ移住してきた飯田 将氏。鶏と真摯に向き合うグリーンファーム久住の姿勢に共感し、日々慌ただしく店を切り盛りする。

「オープンして1年が経ち、おかげさまで市外からもたくさんのお客様が足を運んでくださっています。しかし、まだ地元での認知度が低いという課題も。今後も、お客様のニーズを再検討しながら、長く愛される店にしたい」。そのための取り組みとして、新メニューの開発や店内イベントの開催、ポットアップストアの出店、竹田の農家との提携などを行うほか、週に1度は自ら養鶏場へ出向き、泥んこになり汗を流す。

思い描く理想のカフェは“誰もが気軽に通えるご褒美店”。「地域の人たちが週に1〜2回通ってもらえるような店を目指すとともに、養鶏場のスタッフ達にも、カプリセスを通じて自分たちが作るたまごを誇りに思ってもらえたら」。飯田氏のチャレンジは続く。

キラリ 新風力 New Wind

子どものケアのみならず 地域みんなの集いの拠点に

様々な理由で生きづらさを感じる人たちに向き合い続ける「大分県福祉会」。創立70周年を迎えた現在も、「みんなが笑顔になれる場所を」と子どもや母子、障がい者を中心とした福祉施設や保育園など、6つの施設の運営をはじめ、子育てや家庭環境などの相談窓口の開設など、多岐にわたる事業を行う。

長年保育・福祉に取り組んでいる中で今、課題として浮き彫りになっているのが、子育て中のお母さんや高齢者が、地域で頼れる存在や居場所がなく孤立していること。「近年、住宅地の開発により子育て世帯は増加していますが、その一方で、古くから住む方の高齢化も進んでいます。母子が気軽に遊んだり、高齢者がゆっくり立ち寄れる場所がなく中には孤独死してしまうケースも。このような課題を解決するため、地域の子育てや福祉に役立つ場を作りたい」。

保育の現場を通じて、地域が抱える現状

を目の当たりしてきた職員の意見をきっかけに、同法人では大分市羽田に、子育てと福祉の拠点となる施設の開設を決めた。

新たなカタチの福祉拠点を目指す新施設「えんえん」は、0歳児の一時預かり保育や病後児保育、医療的ケア児の受け入れなど保育事業をはじめ、子育て広場や相談支援、さらにカフェや文具・駄菓子店、図書館などを設ける予定。親子や高齢者はもちろん、誰もが気軽に立ち寄れる居場所になりたいと考える。

同法人では、運営する「滝尾保育園」の職員を中心に、新施設設立のプロジェクトチームを発足。日常業務と並行し、2024年度の開設に向け準備をすすめている。またこの新事業計画は、2023年3月に「第2回 日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」の公募で、全国292事業のうち助成が決定した3事業の1つとして、大分県内で初めて採択された。人と人とが繋がる「新たな地域のハブ」の完成に夢膨らむ。



社会福祉法人 大分県福祉会
理事長 有松 一郎さん



DATA
〔福祉事業〕
社会福祉法人 大分県福祉会
所 大分市顕徳町1-13-17
☎097-532-3472
営業 9:00~17:00
休 土・日曜、祝日 〔P〕あり
https://oita-fu.com/

大分市羽田に開設予定の新たな福祉拠点「えんえん」。保育や福祉に限らず誰もが気軽に立ち寄れる場を目指す。

ふわり 爽風力 Fresh Power

合宿教習の新宿舎は 豊後高田の観光の拠点に

電車やバスなどの公共交通機関の便数が少ない地方での暮らしに「車」は欠かせない。その大切な生活手段を利用するための、スタートラインをサポートする「豊の里自動車学校」。昭和44年の設立以来、市内はもとより、県内外から免許取得を目指す人たちが訪れ、普通免許をはじめ中型車、自動二輪車のほか、農業が盛んな豊後高田市の土地柄もあり、地元の生徒の中には、農耕トラクターやフォークリフトなど、大型特殊免許の取得を目指し入校する人も多い。

日々、指導員が教習時に心がけているのは、親身な姿勢で教習を行うこと。「家族に自動車事故を起こしてほしくないと思うのと同じように、生徒には生涯、無事故の安全な生活を送ってもらいたい。だからこそ、一人ひとりに寄り添った指導を大切にしています」と榎本善仁現社長。若者の車離れが懸念される昨今だが、生徒と指

導員の距離が近く、アットホームな雰囲気の中、技術や知識はもちろん、運転することの楽しさや喜びを体感しながら学ぶことができる。

また約7年前から行っているのが、一定期間宿舎に滞在し、技能や学科を学ぶ「合宿教習」。最短2週間での免許取得が可能で、時間のある時に短期集中で免許を取得できると、人気のコースだ。

さらに2023年7月には、長期滞在型のホテル「Plainn by negura(プレイン バイ ネグラ)」をオープン。合宿教習の生徒のための宿舎としての役割のほか、一般客も利用できるホテルとしても稼働。シングル、ツインタイプのモダンな客室は、全て素泊まりタイプで、共用キッチンやランドリールームも備える。

「生徒が快適な合宿生活を過ごせる場所としてだけでなく、宿泊施設が少ない地元の観光事業の活性化にも役立ちたい」。新規事業は、豊後高田や国東半島の旅の拠点としても今後、注目を集めそうだ。



有限会社 豊の里自動車学校
代表取締役 榎本 善仁さん



DATA
〔自動車学校〕
有限会社 豊の里自動車学校
所 豊後高田市新地1675-1
☎0978-22-3115
営業 9:00~19:00
休 日曜、祝日 〔P〕あり
http://www.tsds.jp/

合宿教習の宿泊先となる「Plainn by negura」。洗練された空間でリラックスしながら滞在できる。

医療業 **医療法人ODIC**



定期的な検診は病気の早期発見や予後管理にも有効。軽度認知障害の診断にも対応する

最先端の画像診断機器で高精度の診断を提供

県内でも数カ所しか導入のない最先端の画像診断機器と専門医を揃え、がんをはじめとする病の早期発見に可能な限り尽力する。完全予約制のセンターでは「がん細胞が正常の細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込む」という性質を利用した診断法「PET検査」に、X線で体の内部を画像化する「CT検査」の役割を一体化させた「PET/CT装置」による検査を受けることが可能。さらに症例に応じてより鮮明な画像が得られる「3テスラMRI」を併用することで、診断の精度を高めていく。医療技術の進歩に目を見張る、これらの3つの目を用いて行われる検査は、主治医の紹介状に基づく保険診療、各種検診を自費診療にて対応。「がん検診と同時に診断まで」という思いを大切に、画像診断という側面から地域の人々の健康を考え、より良い暮らしへの貢献を目指していく。

別府市上人ヶ浜9組
☎0977-66-4116
☎放射線科8:30~17:30、
神経内科9:00~13:00
神経内科のみ
土曜日月2日診察(不定)
☎日曜、祝日
☎あり
<https://www.odic.or.jp>

製造業 **風工房**



左から「俱利伽羅不動立像」、「不動明王」

精巧かつ美しい、作り手の思いを宿した工芸品

絶滅の危機に瀕するニホンイシガメの保全活動に長く取り組む工藤清さんが、地元である杵築市山香町に美術工房を構えて40年になる。手作りした鑄型と呼ばれる型に樹脂を流し入れてつくる工芸品は、新年への願いを込めた愛らしい干支ものから、地域のお寺に眠る貴重な木造彫刻・俱利伽羅不動立像、鋭い眼光に迫力を感じる不動明王まで、作風はさまざま。丁寧な手仕事で仕上げた作品は全て対面での販売にこだわり、数年前までは各地の百貨店で精力的に展示会を行ってきた。しかし78歳を迎えた現在は、取り扱いを工房だけに限定。「量産できるものではないし、魂を込めて制作したものだから。より縁のあった方々に商品を届けたい」と工藤さんは話す。今後もニホンイシガメを守る活動は継続し、工房を拠点に人々の集いの輪を広げていくつもりだ。

杵築市山香町大字
野原1726-4
☎0977-75-2026
☎8:00~17:00
☎土・日曜、祝日
☎あり

造船鉄工業 **株式会社 江原造船鉄工所**



造船技術を活かした各種工事にも対応。一般家庭のベランダ防水工事などの事業を展開する

経験と実績を胸に真摯なものづくりを続ける

国東半島の北端部・伊美地区の変遷を古くから見守る造船鉄工所の創業は、今から78年前の昭和20年に遡る。市内で唯一のドック(上架設備)を備える「船のお医者さん」として歩んだ歳月の裏側にあるのは、時代に合わせた新技術を導入し、お客様のあらゆる注文に対応すべく努めてきた柔軟な姿勢。元々は木造貨物船の建造や修繕を生業としていたが、船の仕様は耐久性の強い強化プラスチックが主流となり、専用機器もアナログからデジタルに変化を遂げるなど、業界が転換期を迎える度に技術者として真っ直ぐに船と向き合ってきた。さらに近年高まるアウトドアの人気により、プレジャーボートの需要が拡大。個人向け船舶の製造や修理が増加している。「これからも近隣の鉄工所と手を取り合い、変わらずに事業を続けるための努力を重ねていきたい」と造船鉄鋼業への今後の展望を誓う。

国東市国見町
伊美4301-5
☎0978-82-0023
☎8:00~17:00
☎日曜、祝日
☎あり

飲食業 **株式会社 萬吉**



アイシングクッキーなどを使ったパステルケーキも好評

兄弟姉妹が支える商店街の和洋菓子店

別府市の浜脇モール商店街で営業中の和洋菓子店、「杏樹 ゴトー馒头店」を兄弟姉妹で運営する。「ケーキの需要が落ち込む夏時期のフードロスなくしたい」との思いから、約7年前に旬のフルーツたっぷりの「盛りソフト」をスタート。常時16~20種類を揃える生菓子にも積極的に季節の彩りを取り入れ、ハロウィンやクリスマスのほか、父・母・敬老の日、七夕、お彼岸といった行事の際にもショーケースが華やか。また、店の歴史は意外にも古く、創業は明治43年。元々は馒头を中心に揃える和菓子店だったが、2014年3月に移転リニューアルを果たした。現在は家族4人がひとつの目標に向かいながらも、それぞれが前職の経験を活かして異なる役割りを担当。互いの強みを見出しながら歩みを重ねる店は、歴代の当主が紡いだ歴史を胸に新たな店づくりに取り組む。

別府市浜脇2-2-3
☎0977-21-1775
☎9:00~18:00
☎木、日曜
☎共有あり

製造業 **風工房**



左から「俱利伽羅不動立像」、「不動明王」

精巧かつ美しい、作り手の思いを宿した工芸品

絶滅の危機に瀕するニホンイシガメの保全活動に長く取り組む工藤清さんが、地元である杵築市山香町に美術工房を構えて40年になる。手作りした鑄型と呼ばれる型に樹脂を流し入れてつくる工芸品は、新年への願いを込めた愛らしい干支ものから、地域のお寺に眠る貴重な木造彫刻・俱利伽羅不動立像、鋭い眼光に迫力を感じる不動明王まで、作風はさまざま。丁寧な手仕事で仕上げた作品は全て対面での販売にこだわり、数年前までは各地の百貨店で精力的に展示会を行ってきた。しかし78歳を迎えた現在は、取り扱いを工房だけに限定。「量産できるものではないし、魂を込めて制作したものだから。より縁のあった方々に商品を届けたい」と工藤さんは話す。今後もニホンイシガメを守る活動は継続し、工房を拠点に人々の集いの輪を広げていくつもりだ。

杵築市山香町大字
野原1726-4
☎0977-75-2026
☎8:00~17:00
☎土・日曜、祝日
☎あり

保育園 **社会福祉法人 川崎保育園**



放課後児童健全育成事業により、こども園に併設して児童クラブを開設している

子どもの可能性を信じ、自主性や主体性を育む

昭和50年の設立から48年に渡り、日出町の子どもの健やかな成長を願う「社会福祉法人 川崎保育園」。幼保連携型認定こども園に移行した平成30年以降は、それぞれの家庭の状況やニーズに合わせ、現在まで幼児教育と保育の両方を提供している。さらに「幼児期に人間形成の基礎が培われる」という考えから、園では全てのクラスにイタリア発祥の教育法「モンテッソーリ教育法」を導入。子どもたちが自ら選択し、自立に向かって積極的に成長・発達していける環境を整えている。また人的環境においても保育士資格と幼稚園教諭資格の両方を保有する職員の多くが、入社後モンテッソーリ教育認定教師の資格取得にも務めている。社会情勢の変化や子育て環境の多様化など、業界には今後さらなる柔軟な支援機能が求められている。園ではこれからも変わらずに子どもたちと心を寄せ合い、充実した未来を紡いでいく。

別府市日出町大字川崎
5066-1
☎0977-72-6747
☎電話受付
7:00~19:00
☎日曜、祝日
☎あり
<http://www.kawasakihoken.org/index.html>

造船鉄工業 **株式会社 江原造船鉄工所**



造船技術を活かした各種工事にも対応。一般家庭のベランダ防水工事などの事業を展開する

経験と実績を胸に真摯なものづくりを続ける

国東半島の北端部・伊美地区の変遷を古くから見守る造船鉄工所の創業は、今から78年前の昭和20年に遡る。市内で唯一のドック(上架設備)を備える「船のお医者さん」として歩んだ歳月の裏側にあるのは、時代に合わせた新技術を導入し、お客様のあらゆる注文に対応すべく努めてきた柔軟な姿勢。元々は木造貨物船の建造や修繕を生業としていたが、船の仕様は耐久性の強い強化プラスチックが主流となり、専用機器もアナログからデジタルに変化を遂げるなど、業界が転換期を迎える度に技術者として真っ直ぐに船と向き合ってきた。さらに近年高まるアウトドアの人気により、プレジャーボートの需要が拡大。個人向け船舶の製造や修理が増加している。「これからも近隣の鉄工所と手を取り合い、変わらずに事業を続けるための努力を重ねていきたい」と造船鉄鋼業への今後の展望を誓う。

国東市国見町
伊美4301-5
☎0978-82-0023
☎8:00~17:00
☎日曜、祝日
☎あり

美容室 **有限会社 ナカタ商会「Lupin III (ルパン三世)」**



現在の中央町に店を構えて33年。髪への悩みは千差万別。そこに親身になって寄り添う姿勢は、創業当時から守られてきた

お客様の美の追求と次世代の人材育成に取り組む

大分の老舗的存在と言っても過言ではない、大分市中央町にある美容院「Lupin III (ルパン三世)」。有限会社ナカタ商会を立ち上げ、美容業界に参入したのは今から約40年前。以降、幅広い客層に指示され、お客様のみならず、美容師の育成にも力を注ぐ企業として、業界の地位向上を目指し走り続けてきた。理想とするヘアスタイルの提案はもちろんのこと、美しい髪を保つためのホームケアの方法まで、一人ひとりに合った丁寧なカウンセリングを行っている。長年、お客様との高い信頼関係を築き続け、創業当時から通い続ける顧客が多いのもうなずける。働きながら通信課程で美容師免許が取得できる「大分県ナカタ美容職業訓練校」も開講。美容室で即活躍できる次世代の人材育成にも取り組み、一流の美容師を輩出することで地域活性化にも貢献している。

別府市中央町1-5-9
中央プラザ2F
☎097-532-9570
☎平日9:30~18:00
土日祝9:00~17:00
☎月曜・第3火曜
☎なし
<https://lupin-hip.com/>